

当別町の 財政状況

皆さんの納めた税金は、どのように使われているのでしょうか。

平成27年度決算と平成28年度予算の上半期の執行状況などについて、お伝えします。

■ 問合せ 財政課財政係 (☎ 23 - 2331)

財政状況をホームページで 公表しています

当別町では毎年2回、「町の財政がどのような状態にあるのか」をお知らせするため、「収入及び支出の概況や住民負担の状況」などを説明した「財政事情説明書」を公表しています。

公表期間は11月1日から1年間です。

■ 町ホームページ

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

平成27年度 各会計収支決算状況

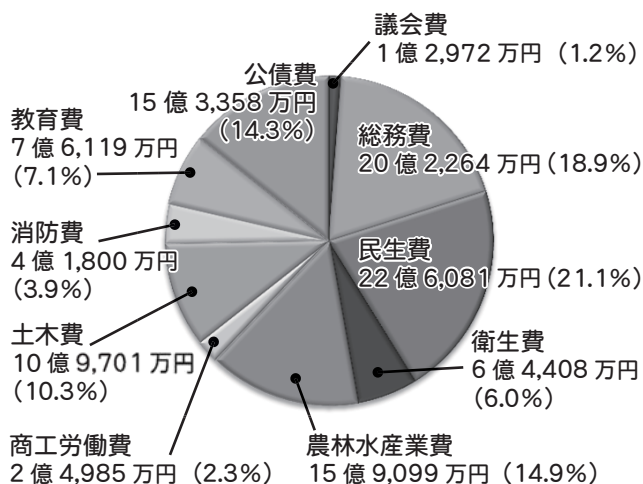
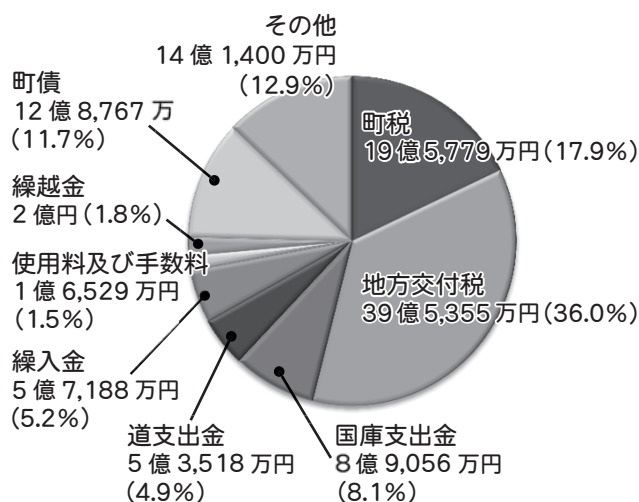
一 般 会 計

歳入 109億7,592万円

歳出 107億787万円

町税	町民税、固定資産税など
地方交付税	国から交付される自主財源
国庫支出金	国からの補助金など
道支出金	道からの補助金など
繰入金	基金（貯金）からの補足分
使用料及び手数料	施設使用料等の実費負担分
繰越金	前年度予算の残額
町債	町の借り入れ
その他	寄付金など

議会費	議会の運営費など
総務費	庁舎管理など
民生費	福祉経費や保育所運営費など
衛生費	ごみ処理、保健衛生事業など
農林水産業費	農地、山林、農道等の整備
商工労働費	商工業、観光事業など
土木費	道路整備や維持管理、除雪など
消防費	消防活動、救急救命など
教育費	学校維持管理、社会教育事業など
公債費	町債（借金）の返済



特 別 会 計

(単位: 万円)

会計名	歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険	24億8,706	26億237	▲1億1,531
下水道事業	9億3,388	9億2,463	925
介護保険	13億8,584	13億5,419	3,165
介護サービス事業	7,203	6,981	222
後期高齢者医療	2億522	2億113	409

水 道 事 業 会 計

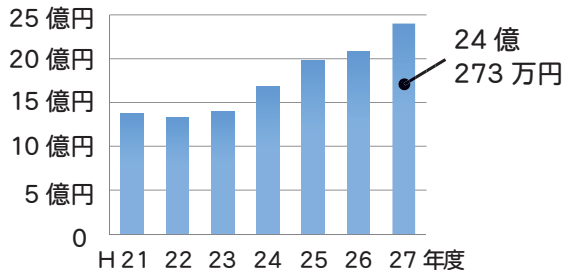
(単位: 万円)

区分	収入	支出
収益的収支	7億3,768	7億1,641
資本的収支	3,128	1億4,838

基金と町債の状況

平成 27 年度末現在の基金と町債の残高は、次のとおりです。

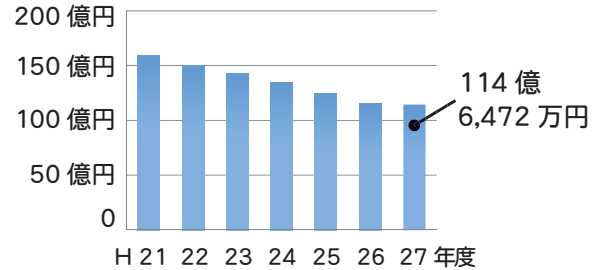
～基金残高の推移～



※基金とは

将来の多額の出費等に備え、あらかじめ用意しておくお金です。

～町債務残高の推移～



※町債とは

道路整備のように臨時的に多額の費用が必要となるときに、町が国や銀行などから借り入れる資金です。

平成 27 年度に取り組んだ主要事業

■ 防災拠点等への再生可能エネルギー等導入推進事業 1億5,746万円

町内最大級の避難所である「総合体育館」に、災害時に対応可能な再生可能エネルギー設備である太陽光発電、蓄電池、ペレットボイラー、LED 照明を導入し稼働を始めました。

■ 企業立地促進事業 2,808万円

企業誘致を推進するため、町の産業用地・企業の事業環境・交通網・住環境および観光情報等を効果的に発信するための企業・住民誘致用の PR 情報誌を作成しました。道の駅とあわせた総合的な土地利用の見直しを実施するための都市計画基本図を作成し、企業進出に向けた誘致活動を実施しました。

■ (仮称) 当別町道の駅建設関連事業 5,680万円

(仮称) 当別町道の駅の基本設計や実施設計を行った他、PR 事業業務委託では、フリーペーパーへの PR 記事の掲載、パンフレット等の宣伝用素材や PR 動画を作成し、イベントを行うなど道の駅開業の PR に努めました。

■ 防災マップ等作成・更新事業 294万円

今回の防災マップの更新により、近年の異常気象が原因による災害への対応および新たな土砂災害警戒区域を反映させた土砂災害ハザードマップを加え、配布したことで、各自の備えの取り組みにつながりました。

平成 27 年度末現在の財政状況

☆財政健全化法に基づく健全化判断比率

自治体の財政状況が健全かどうかを判断する指標として、健全化判断比率があります。

平成 26 年度に引き続き、平成 27 年度もいずれの数値も下回っており、早期健全化団体には該当していません。

指標	内容	当別町	健全化判断基準	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計の単年度内の収支、赤字・黒字の比率	赤字なし	14.27%	20%
連結実質赤字比率	全ての会計の単年度内の収支、赤字・黒字の比率	赤字なし	19.27%	30%
実質公債費比率	自治体の借金返済に係る比率	14.7% (全道ワースト 11 位)	25.0%	35%
将来負担比率	自治体の負担として将来必要になる額の比率	107.4% (全道ワースト 16 位)	350.0%	—

☆当別町財政運営計画の状況

本町は平成26年度より「第2期当別町財政運営計画」に基づき財政健全化に取り組んでおり、国が定めた4つの健全化判断比率による早期健全化団体には該当していません。しかし、そのうち実質公債費比率と将来負担比率が道内市町村の中でも高く、今後も継続して財政の健全化を進める必要があります。

計画で定めた目標と平成27年度決算の状況は、次のとおりです。

	平成27年度	平成30年度 (目標値)
実質公債費比率	14.7%	12%以下
将来負担比率	107.4%	125%以下
地方債残高	115億円	110億円以下
財政調整基金残高	5.7億円	7億円超



平成28年度 予算の上半期執行状況

平成28年度予算、各会計の9月末現在の執行状況は次のとおりです。

会計名	予算額	収入済額 (収入率)	支出済額 (支出率)
一般会計	96億 6,799万円	48億 1,652万円 (49.8%)	39億 9,687万円 (41.3%)
うち平成27年度繰越明許費	1億 8,528万円	1億 5,936万円 (86.0%)	8,891万円 (48.0%)
特別会計	52億 7,378万円	19億 9,301万円 (37.8%)	21億 9,655万円 (41.7%)
国民健康保険	25億 9,744万円	8億 8,946万円 (34.2%)	11億 3,276万円 (43.6%)
下水道事業	9億 4,794万円	3億 2,606万円 (34.4%)	3億 8,904万円 (41.0%)
介護保険	14億 5,844万円	6億 8,357万円 (46.9%)	5億 7,763万円 (39.6%)
介護サービス事業	6,675万円	2,515万円 (37.7%)	3,446万円 (51.6%)
後期高齢者医療	2億 321万円	6,877万円 (33.8%)	6,266万円 (30.8%)
合計	149億 4,177万円	68億 953万円 (45.6%)	61億 9,342万円 (41.5%)
水道事業 会計			
収益的収入	7億 140万円	3億 4,761万円 (49.6%)	—
収益的支出	6億 8,460万円	—	1億 4,475万円 (21.1%)
資本的収入	6,596万円	0円 (0.0%)	—
資本的支出	1億 7,735万円	—	4,485万円 (25.3%)

※平成28年9月末現在の執行状況です。

※予算額については、上半期における補正額及び繰越明許費（前年度から繰り越して使用することができる経費）を含んでいます。

※収入と支出の時期の違いにより、収入が一時的に不足している会計については、会計間で一時的な運用がされています。